



9月ゆめのはだより



2025年9月1日

9月に入りましたが、暑い日が続いていますね。8月に続いて今月も日本全体で、平年より気温が高くなると予想されており、東日本・西日本では過去の記録を更新する可能性があるとも言われています。今後の夏の過ごし方も考えていくと同時に、こどもたちとも自然や気候について話し合う機会を持ちたいと思います。

〈行事予定〉

月	日	曜	行事
9	10	水	ゆめのは広場（助産師さん講演）
	13	土	すくすくのびのびの日（乳児）
	16	火	身体測定（乳児）
	17	水	身体測定（幼児）
10	4	土	第14回うんどう会（幼児）
	8	水	ゆめのは広場（散歩）
	16	木	身体測定（乳児）
	17	金	身体測定（幼児）
	21	火	交通ランド（年長）
	31	金	秋の遠足（幼児）
🎨 9月のお弁当日…9/13（土）・/27（土）			

2025年度 クラス編成 2025.9月現在

クラス	園児数	クラス	園児数
どんぐり	12名	ほし	25名
つくし	8名	つき	24名
たけのこ	16名	にじ	25名
りす	23名	総園児数	133名

最近の習い事事情

情報番組で、子どもたちが家事・お手伝いを塾に行き教えてもらうという特集されていました。また、初めてのおつかいを見守り、動画で残してくれる会社もあり、興味深く視聴しました。

塾で子どもたちが取り組む内容は、雑巾の絞り方から雑巾がけ、洗濯物のたたみ方や部屋の片付けなどが紹介されていました。初めてのおつかいでは、決まった歩行者天国エリアで、専任の見守りスタッフがつき、おうちの人から頼まれたおつかいを子どもが初めて行う姿がありました。そのような体験・経験を通し、子どもたちは『生きる力』が育まれ、『自己肯定感』、『自己効力感』を持つようになると、申し込むご家庭が増えているとのことでした。

視聴後、園で普段のあそびや生活の中で経験していることばかりだと、一人心中でほくそ笑むと同時に、このようなことがビジネスになってしまう背景や社会状況があるのだと感じさせられました。

そして保護者の方と一緒に、こどもたちの未来について、考えていければと思います。



ゆめのはエピソード

『自分の中の自分との葛藤』



ある朝、おうちの方と離れがたかった3歳児 A くん。担任の B さんが、涙が出る A くんに寄り添っていましたが、クラスに行く時間が来てしまいました。A くんは B さんが一緒にクラスに行くことを提案すると、「いけない」と伝えてくれました。

私が B さんと代わると、「いやだ」と言って一瞬立ち上がったのですが、また座って涙が出ました。しばらくすると、手にしていた水筒を床にゴンと打ちつけ、立ち上がり、ゆっくりゆっくり階段へと進み、泣きながら少し上っては座るを繰り返し、ようやく2階へたどり着きました。クラスに続くテラスでは、中央まで行くと座り、しばらくすると、クラスのドアの前まで歩き座りました。

ドアの室内側で B さんが A くん目線に合わせ待っていると、A くんが自ら入室し B さんにギュッとしてもらおうと、涙があふれていました。A くんが自分の中の A ちゃんと葛藤し乗り越えた涙は、キラキラと輝き、心の成長を感じる瞬間でした。

〈9月おすすめ絵本〉

📖 『はじめてのおつかい』

作 筒井頼子 絵 林明子

みいちゃんがママに頼まれて牛乳

を買いにはじめてのおつかいに行きます。幾多の試練を乗り越え、おつかいをする姿が感動的な名作です。

